

## 電気くらげ

**目的** 身近にある素材を用いて静電気の実験を行い、帯電した物体間で空間を隔てて力が働くことを見いださせる。

**準備** ティッシュペーパー、スズランテープ、セロハンテープ、アクリル板、ペンシルバルーン

**方法**

- 1 2つに折ったスズランテープの中央をセロハンテープでとめた後、スズランテープを細かく裂いて「電気くらげ」をつくる。
- 2 図1のように、方法1の電気くらげをアクリル板の上に載せ、ティッシュペーパーでこすり静電気を帯電させる。
- 3 よくふくらませたペンシルバルーンをティッシュペーパーなどでこすって静電気を帯電させる。
- 4 方法2の電気くらげのセロハンテープの部分を持って、勢いよく空中に放り投げ、図2のように、電気くらげの下の方から、方法3の帯電したペンシルバルーンを近づけると、電気くらげは帯電したペンシルバルーンと反発しあって電気くらげを空中に浮かばせることができる。



図1 アクリル板上の電気くらげ

### 留意事項

- 1 方法4で電気くらげを空中に放り投げるとき、帯電させた電気くらげの足にさわると静電気が逃げるので、触れないように気をつけること。
- 2 電気くらげをうまく空中に浮かべることができず他のものにふれて静電気が逃げってしまった場合は、方法2からやり直すとよい。

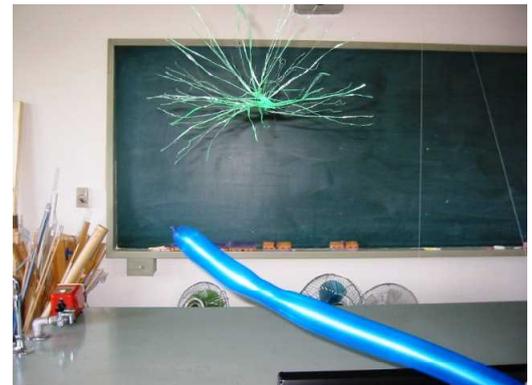


図2 空中に浮かぶ電気くらげ